

令和7年度 第1回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月15日（木） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 新規委員任命書交付
- 6 自己紹介（委員・オブザーバー・学校職員）
- 7 浜松市学校運営協議会規則の確認
- 8 議長の選出
- 9 前回会議録、前年度協議会自己評価の確認
- 10 出席委員 齋藤 誠、堀内 秀哲、鈴木 巧、瀧 幸仁、鈴木 景子、佐藤 理、
藤井 琴美
- 11 欠席委員 金原 佐知子、山下 直行
- 12 オブザーバー 堀内 信広（天竜協働センター所長）、岡安 智代（主任児童委員）
- 13 学 校 河合 享子（校長）、河口 裕之（教頭）、白鳥 直樹（CS担当教員）
小野 佐恵子（CSディレクター）
- 14 傍聴者 なし
- 15 熟議
 - （1）本年度の学校運営基本方針について
行動支援プログラム／自分みがきタイム等
 - （2）学校支援活動について
 - （3）夢育やらまいか事業について
 - （4）令和7年度目標について
- 16 会議録作成者 CSディレクター 小野 佐恵子
- 17 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人中7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、浜松市学校運営協議会規則の確認を行なった。

議長の選出について意見を求めたところ、他の議員より会長の齋藤委員の名前があがり、全員異議なくこれを承認した。

協 議

- （1）本年度の学校運営基本方針について

議長の指示により校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。

本校は明治8年創立で今年創立150周年目を迎える。昨年から児童数が285人となった。2学級減で、職員数1名減で34名（本来なら2名減だが、少人数学校への支援ということで1名減）。

学校教育目標は「自分の良さを知り、共に未来を創る子」で、重点目標は子供たちが主体

的に学んでいくこと、主体的に行動すること、主体的に活動すること、主体性に育むこと。いきいきプロジェクトとして、やりたいと思ったことを広めていくようにしたい。

いじめについての基本方針は、未然に防ぎ、早期発見につながるように思いを共有しながら取り組み、いじめが起きてしまった場合は適切な対応をしていく。学校を休む、転校する等の重大事態は防ぎたい。

委員からは次のような発言があった。

- ・よい取り組みだと思うが、人に対しての優しさというのは具体的には？（巧委員）
- ・保護者の理解をどう高めていくか。本年度はそこを優先的にやっていってはどうか。（瀧委員）
- ・人を思いやるということをもう少しつめていけたらと思う。（藤井委員）
- ・助け合いは低学年は自らやらないので保護者自身が理解した上で家庭で話したらいいのでは。（佐藤委員）
- ・保護者がどう受け止めるか、家庭への啓蒙が必要。（景子委員）
- ・子供の意見を聞きながらそれを元に学校や地域が取り組んで、子供に届くようにすることが大事だ。（秀哲委員）
- ・学校・家庭・地域が一体となって子供の成長を見守っていくのがいい。最終的にここをこうしたら、が具体的にになるといい。みなさんに協力してもらって進めていきたい。（会長）

議長の指示により、

- ・大石教諭からＴＴＹ（つくろう つながろう やってみよう）行動が２年目になるので、教員主導から子供たちから発信していこうという方向で取り組んでいる。５月は「大丈夫」「手伝う？」「ありがとう」などのふわふわ言葉を使っていこうということも始めた。今年度は「Ｎ７（各委員会のサミットのようなもの）」を立ち上げ、子供たちが主体性をもって取り組んだらより一層の効果が高められると思うので、年間計画を立てている。６月は保健委員会から「廊下や階段は右側を歩きます。」という提案がある。
- ・白鳥教諭からは、火曜日の自分みがきタイムで読書やお手伝い、調べ学習などに取り組んでいたり、教員からもこういうことをやってみたら、と提案したりもしている。家庭学習について、低学年ではまだ無理があるが、やらされている勉強から自らが主体となって自主的な学習を進められるように発達段階に合わせて進めていきたい。

協議の結果、学校運営基本方針は承認された。

（２）学校支援活動について

議長の指示により以下の発言があった。

- ・登下校の見守りは学校からお願いしている。登下校安全見守りに協力していただける方がいたら連絡がほしい。（斎藤委員）
- ・クラブ活動として木工製作（材料は業者から提供）、昨年度からは、よさこいなどを含めたダンスをやりたい、黒板アートを希望する子供がいるので、なんとか指導者を見つけられたらと思っている。現在知り合いを通して探している。

- ・PTAでもかかわっていき、グループLINEで「私はこんなことが出来る」等連絡もらえたらよい。もっとうまい方法があるといいが。
- ・学校の要望から輪が広がって地域で協力してもらえたらと思っている。PTAとはあまりパイプがないので、何か窓口があるといい。(秀哲委員)
- ・卒業生等をお願いできればと思う。(瀧委員)
- ・ダンスを教えている人や二宮金次郎の紙芝居を作っている人もいる。(巧委員)
- ・PTAには入っているが、どう保護者に活動を伝えていくか。子供たちの補佐をするところから入っていくといいのかなと。(佐藤委員)
- ・参加したい人はいなくても参加して学校のことを知りたい人はいると思う(景子委員)
- ・活動を縮小したりなくすのは簡単だが、人が少なくてもどうやって活動が続けていけるかPTAとはうまく連携してやっていきたいと思っている。(会長)

(3) 夢育やらまいか事業について

議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業予算6万円の使途について説明があった。

(4) 令和7年度目標について

議長より、令和7年度学校運営協議会自己評価表の本年度の目標として、昨年度末にまとめられた令和7年度の目標の説明と確認がなされた。

委員からは、

- ・保護者に伝える方法として、PTA役員から伝えるより、紙だけでなく体育館等で対面で話してもらった方が伝わるのでは(さくら連絡網も読まない人は読まないの)。(佐藤委員)
- ・ぜひそういう機会をもって伝えることをしてほしい(秀哲委員)

※PTA役員会は年3回

- ・9月22日(月) 参観会の後に保護者が全員参加する講演会がある。(学校より)

その他報告事項等

教頭から今回の意見を今後の参考にし、教職員との意見交換会も設けたいと考えていると伝えられた。委員からは、

- ・学校と地域が両輪で進めていけたらと思う。(信広委員)
- ・子供に親がひっぱられるというのがいい。何かいい方法があればと思う。
子供が活動して、そこに親を巻き込んでいくのがいい。(岡安委員)

次回以降の会議は、7月の交流会、9月3日、11月11日、2月18日を予定している旨の報告があった。